



Letters

レターズ / 加入者や保護者の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

北海道

T・Rさん（加入者）T・Rさん（母）

❀加入者さまより

この度は橋本給付金と図書カードをいただきありがとうございました。この給付金は中学校へのひょうにつかって、図書カードは中学校でつかう、さんこうしょのひょうにつかわせていただきます。これで中学校生活を、なにがあってもがんばっていきます。

♡お母さまより

この度は中学校入学にあたり、給付金と図書カードをありがとうございました。

主人が亡くなってから3年が経とうとしています。当時は、主人の過失がゼロだったことで加害者に対しての恨みが消えず、生活の不安や子どもたちの精神的な不安定もあり、毎日がどん底でした。ですがこういった支援やまわりのサポートのおかげで、だいぶ日常を取り戻しています。とても感謝しています。

埼玉県

S・Mさん（母）

この度は中学進学にあたり、橋本給付金をいただき、ありがとうございました。制服や学校指定のジャージ等の購入に使わせていただきます。

時に、迷い悩んだこともたくさんありましたが、大きな病気やケガもなく小学校を卒業できそうです。どんな時も正直に生きようと娘と約束し、何かあったら正直に話すことを伝えています。

最近、将来就きたい職業も見つかり、どうしたらその仕事ができるか考え、どうすべきか考えている様子です。少しずつ親離れが始まったようで、時にさみしさもありますが、一緒にいる時間を大切に、そして正直にこれからも過ごしていきたいと思っています。

兵庫県

M・Mさん（母）

突然主人を亡くし、混乱の中、役所で手続きをしている時、交通遺児等育成基金のパンフレットを手に取り持ち帰ったと思います。その時、手に取らなければ、このような基金があるのを今も知らなかったと思います。たくさんの方々を支えられて、今、自分たちが前に進んでいけることに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。



匿名希望さん

♡加入者さまより

この度は橋本給付金および図書カードをいただきありがとうございました。

私は4月から高校生になります。第一志望校の入試も近づいていて一生懸命学習に取り組んでいるところです。こうして将来に向けて学習に取り組んでいるのも、生活を支えてくださっている給付金のおかげです。

生まれたときにはすでに天国にいた父に会いたいと思うことも多々ありますが、今ある幸せを大切に大切に過ごしていきたいです。

追伸、第一志望校に通えることになりました!!

㊦合格!!

♡お母さまより

この度は橋本給付金および図書カードをいただきありがとうございました。

子どもは、交通遺児育成基金の制度を理解できる年齢となりました。給付金制度をありがたく思っています。家族、地域、学校、市、県等からさまざまな支援を受けていることに親子で感謝しています。

基金よりも親子で楽しんでいます。今後ともよろしく願いいたします。

北海道
N・Sさん（加入者）N・Rさん（母）

♡加入者さまより
大きなケガや病気もなく無事に大学生になることができました。ご支援ありがとうございました。
スマイルズでは毎回「こう見えるミュージアム」を楽しみにしていました。親子で掲載されることを目標に、真剣に考えていたのを覚えています。その目標もちゃんと達成されて、お絵描き好きの私にはとてもワクワクする企画でした。母とは普段でもよく喋りますが、さらに2人の時間が増えた気がしてうれしかったです。本当にありがとうございました。

♡お母さまより
まずは長きにわたるご支援にお礼申し上げます。また、19歳のお祝いの手紙とともに完了給付金や図書カードもご送付いただきましてありがとうございました。
親バカですが、事故の時はまだお腹にいた子が、おかげさまで素直で明るくしっかりと目標を見つけ大学生となり、寮生活ですが家を出る決心をし、よく育ってくれたなあどわが子ながら誇らしく思っております。これも定期的なご支援のもと、スマイルズを通して全国の同じ境遇の方も頑張ってるな！と励みとなり、こう見えるミュージアムでは親子同時掲載を目標に楽しく考えたり、大きくなって一緒に映画を観に行く機会をくださったりと、どれも楽しませていただきました。ご支援くださった皆様に心より感謝申し上げます。

愛知県
M・Iさん（加入者）M・Yさん（母）

♡加入者さまより
長い間、育成給付金を給付してくださり、ありがとうございました。おかげさまで、たくさんの経験をすることができました。本当にありがとうございました。
♡お母さまより
本当に長い間の給付金、ありがとうございました。どれだけ心強かったことか…。もうこちらにお世話になることもなくなるかと思いますと、子ども同様身の引き締まる思いです。これから少しでも社会に恩返しできるように頑張っていきます！
これまでの、本当にたくさんのご厚意に感謝します。

滋賀県
K・Tさん（母）

いつもお世話になりありがとうございます。先日、無事卒業式を終えることができました。
「橋本給付金」をいただき、ありがとうございました。まだまだ大変なことばかりですが、元気に毎日を過ごせていることに感謝し、頑張ろうと思います。

福岡県
O・Mさん（母）

長い間給付金、映画鑑賞券、図書カードなどさまざまなご支援をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。
おかげさまで、この度末っ子が基金を卒業することとなりました。末っ子は大学へ進学し充実した学校生活を送っています。
子どもたちがそれぞれの目標に向かって進んでいくのを見守ってきましたが、そんな子どもたちの姿に勇気もらい、私も新しいことに挑戦してみたいという前向きな気持ちが生まれました。子どもたちとともに頑張っていきたいと思います。
親子共々、このような気持ちで頑張れるのも基金の皆様のおかげです。本当に長い間大変お世話になりました。ありがとうございました。

宮城県
K・Iさん（母）

この度は図書カードとお祝い金を頂戴し、大変ありがとうございました。
事故当時、まだお腹の中にいた子が無事に成長し、中学卒業を迎えることができました。主人を失ってから悲しみと不安でいっぱいでしたが、3人の子育てを通して1つ1つ乗り越え、ともに成長してきた15年間でした。
昨年、長男は結婚して新しい家庭を持ち、次男は大学生活を謳歌しています。皆様に支えられて、ここまでこられたのだと大変感謝しております。
今までお世話になった家族共々、これからの人生は人の役に立つことができるよう、恩返しのつもりで頑張りたいと思います。



と
な
り
の
レ
タ
ー
ズ



みんながとなりに寄り添う
「もう一つ」の Letters

今回ご登場いただいたのは、3人の息子さんを育て上げた父親・トマトさんです。彼が伴侶を亡くされるまでは、家事のことはほとんどタッチせずに暮らしていたので、仕事とともに家事と育児をこなす毎日に変化が訪れたそうです。そんな大変な日々をどのように乗り越えられたのか――。読者の皆様の暮らしの糸口に少しでもお役立ていただけたら幸いです。

第12回 保護者体験談編 近畿地方在住 3人の息子さんを育て上げたトマトさんの場合

妻が事故に遭遇したのは、今から22年前のことです。交差点で一時停止を無視した車と妻のオートバイが衝突し、直後は腕を骨折したという診断で入院していたのですが、翌日容態が急変し、血管内損傷が原因で多臓器不全で亡くなってしまいました。
当時、3人の息子は中学2年、小学5年と小学2年。私は、家事はほとんど妻に任せていましたので、銀行の通帳の保管場所も、水道光熱費の支払い方法もわかりません。洗濯機や電子レンジの操作方法もわかりませんでした。子どもたちには「心配ない安心しろ。ばっちりやるから」と言ったものの、次男から「明日から学校でプール授業があるから水泳パンツがいる」と言われて、水泳パンツの在り処がわからず途方にくれました。妻の死後から1カ月間はどのように過ごしたのか、未だに覚えていません。

民事裁判を起こして勝訴。転職も経験

周囲のサポートや食事の配達サービスなどを利用しながら、子育てと仕事に没頭する傍ら、刑事裁判後、民事裁判を起こし、4年の歳月を費やして勝訴しました。今から考えても、これまでよく乗り越えられてきたと思います。子育てをするため、職場は負担の軽い部署に異動させてもらったりしたのですが、人間関係で最終的には転職しました。

心がけたのは細かな干渉をしない子育て

子育てにおいては、子どもたちが非行に走るのが一番心配でした。私が願ったのは、健康に普通に成人してもらうことだけです。「家族の絆があれば心配ない」「悲しむ人がいるなら間違わない」という周囲からの助言を頼りにして、子どもたちには細かな干渉をしないように心がけて接していました。それが功を

奏したのでしょうか。おかげさまで、3人とも無事に成人し、社会人として活躍しています。

情報収集は大事。個人情報の流出に注意を

妻の事故後、私がしたことは、平穏な暮らしを送るために情報収集をしたことです。当時は社会的な救済制度に男女格差がありまして、女性が残された場合に比べ、男性が残されたときは給付対象外ということが結構ありまして、寡婦控除に関しても男性が適用される条件や金額は、女性より厳しかったんですね。本やインターネットからも知識を得ましたが、複数の交通事故遺族の支援団体に加入して情報収集をしたことは、とても有意義でした。裁判に必要な知識や遺族が気を付けるべきことなどを具体的に知ることができました。そこから得たことを踏まえて、現在、基金に加入している保護者の皆さんにお伝えすることがあるとしたら、個人情報の流出に気を付けることですね。被害者への賠償金目当てに近づいてくる輩がいて、中には騙された事例もあります。私も少なからず感じましたが、周囲には心やさしく誠実な人ばかりがいるわけではないことを、頭に留めていただけたらと思います。

〈編集部より〉

トマトさんは最近仕事をリタイアし、現在は、悠々自適に平穏な日々を送っていらっしゃるそうです。今後の抱負を伺うと、「もしチャンスがあれば、自分と同じ境遇の遺族の方たちへのサポートができれば」と語ってくださいました。トマトさんにそのような機会が訪れたなら、きっと同じ逆境を経験した人だからこそできる心強いアドバイスや支援ができるのではないのでしょうか。彼のこの抱負をお聞きして、私たち編集部一同も、より一層読者の皆様に寄り添って、皆様に役立つ情報やメッセージをお届けできるように励まなければと、改めて認識いたしました。